

BLS0 鹿児島コース

Advanced Life Support in Obstetrics (ALSO)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースである。1991年に開発され、1993年にコース権利はAmerican Academy of Family Physicians (AAFP - 米国家庭医学会)によって認可された。現在全米では多くの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられている。さらにALSOコースは世界的に普及活動が行われており、2009年現在までに、50カ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上がALSOコースを完了した。

日本では2008年11月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、約1800名がALSOコースを修了した。ここ数年、主に病院前産科救急を想定して、ALSOの前段階の産科救急基礎コースとも言えるトレーニングコースが、世界中で実験的におこなわれるようになった。それが、BLS0 (Basic Life Support in Obstetric) コースである。BLS0は交通事故などの妊婦外傷を含む病院前の産科救急的対処を強調しており、特に産科救急に突然遭遇する可能性がある救急医、救急ナース、そして救急救命士を対象とした教育コースであると言える。コースは一日コース。少人数グループによる重要ワークショップは正常分娩、分娩第3期の処置、肩甲難産、産後大出血の対処、新生児の処置・蘇生法である。また筆記試験とマネキンによる実技試験がコースに含まれている。BLS0コースを受講し試験に合格した場合、参加者はAAFPとALSO-Japanが認定する5年間有効の認証を受けることができる。我が国ではこれまで約300名がBLS0コースを修了している。

セミナー：BLS0 コース

主催：鹿児島BLS0実行委員会

共催：NPO法人 周産期医療支援機構 (OPPIC)

公益社団法人 地域医療振興協会

ライオンズクラブ

開催場所：鹿児島県鹿児島市 かがしま県民交流センター

日時：平成25年4月13日(土) 9:00~18:00(予定)

費用：15,000円

募集受講定員：24名程度

申込方法：E-mail(machokato@oki-hospital.com 隠岐病院 加藤一郎)に【記入事項】を記入し申し込んで下さい。平成25年3月12日正午受付開始です(定員になり次第締め切りますのでご了承下さい)。

定員に達しましたので申し込み受付は終了いたしました。

【記入事項】

- ① 名前(ふりがな 名前ローマ字表記)
- ② 所属/役職(初期研修医の方は初期研修医と記入してください)
- ③ 住所
- ④ 電話番号(携帯電話)
- ⑤ PCメールアドレス(携帯電話は不可です)

テキスト：教育提供サイトからダウンロード

受付時提出物：プレテスト(回答後)

推薦図書：日本版救急蘇生ガイドライン2010に基づく新生児蘇生法テキスト メジカルビュー社

鹿児島BLS0プログラム

受付	08:45 - 9:00 (15)
Intro. 妊婦の評価	9:00 - 9:00 (60)
分娩介助	10:10 - 11:10 (60)
新生児蘇生	11:20 - 12:20 (60)
昼食	12:20 - 13:00 (40)
救急車内分娩	13:00 - 13:30 (30)
産後大出血・妊婦蘇生	13:30 - 14:30 (60)
シナリオ・実技練習	14:40 - 15:40 (60)
筆記・実技試験・症例検討	16:00 - 18:00 (120)

会場交通案内

